

山陽小野田市防災気象情報システム導入事業の プロポーザル審査について

1 事業概要

山陽小野田市防災気象情報システム導入事業では、近年、多発している豪雨災害を踏まえ、新たに河川監視カメラ、量水板及び雨量計を設置する。さらに、山陽小野田市内の主要な二級河川の映像、水位、洪水予測、気象予測等の防災気象情報（以下「防災気象情報」という。）を収集及び分析する山陽小野田市防災気象情報システムを導入する。これにより、現地に赴くことなく危険を察知できるようになり、避難情報等の発令判断を早めることができる。また、防災気象情報をインターネット上に公開し、市民の閲覧が可能になることで、自助・共助による避難行動を促すことができる。

2 選定方法

公募型プロポーザル方式

3 最高得点者

株式会社気象工学研究所

4 審査の経緯

第1回審査委員会（事前協議）	令和3年	7月	29日
参加申込書等の提出期限	令和3年	8月	6日
企画提案書等の提出期限	令和3年	9月	9日
第2回審査委員会（プレゼンテーション）	令和3年	9月	29日
審査結果及び受託事業者の候補者の決定	令和3年	10月	1日

5 プロポーザル参加事業者 2者

6 審査方法

各審査委員が審査基準に基づき審査し、最高得点者を本事業の受託事業者の候補者とするが、総得点が持ち点の合計の2分の1以上であることを条件とする。なお、最高得点と最低得点の委員の得点は除くこととする。